

第12回安中市行政改革審議会会議録（概要）

【日 時】平成20年 3月24日（月）午前9時30分～12時00分

【場 所】市役所第201会議室

【出席委員】9名

【欠席委員】6名

【事務局】3名（総務部長、行政管理係長、担当職員1名）

【配付資料】

〔配布済〕1 行政改革大綱（最終案）

〔配布済〕2 行政改革大綱実施計画 たたき台
会議次第

3 前回会議会議録

4 行政改革推進会議 会議要旨

【概 要】

1 開 会 司会進行：部長

2 挨拶 会長

配布資料確認：事務局

3 協議事項 議長：会長

(1) 行政改革大綱について

説明：事務局（資料1）

I 策定の背景

1 地方分権の進展

- ・国と地方が対等関係であることを示すためにはどうすればよいかを配慮

2 少子高齢化などの社会変化

- ・データを19年に修正
- ・文章に合わせて図の順序を変更
- ・図-2 旧松井田町の18年の数値を削除
- ・図-3 タイトルを変更

3 厳しい財政状況

- ・末尾の文章を追加
- ・図-5 実質公債費比率の17年度数値を追加
- ・図-6 グラフを追加
- ・図-7 21年度以降の説明を「推計」に変更。19、20年度の数値を修正

4 総合計画の策定

- ・策定日の日にちを削除 → 「20年3月」に

II 行政改革推進項目

1 市民ニーズに的確に対応できる効率的な行政運営のために

- ・赤字部分の「検討し」を削除
- 2 簡素で効率的な組織整備のために
 - ・トップマネジメントの表現を修正
 - ・図－8を追加
- 3 健全な財政運営のために
 - ・(2)に「経営の」と入れるのであれば、(3)の見出しにも「経営の」を追加した方が良いのではという庁内会議の意見

用語解説 … 財常用語を中心に項目追加

《主な内容》

表紙・全体

- ・サブタイトルについては、庁内会議での意見はないようなのでそのまま
- ・自前でカラー印刷をする。何部刷るかは未定
- ・答申後市長の決裁を受け、HPで公表予定

I 策定の背景

1 地方分権の進展

- ・Iの1の右図について、逆三角形にし、住民の部分を大きくして、上から住民＝市町村、都道府県、国とする

2 少子高齢化などの社会変化

- ・Iの2について、新しい数値になっており、はっきりと高齢化が進んでいるのが見て取れる。色は総合計画と同じ色を使用

・図－2は旧安中市も17年で切り、新安中市を違うデータとして分けて、より明確にする

- ・旧安中の数値が合併した後も下がっていないように見える、数値の確認を
- ・図－1及び2は過去の推移であるが、図－3は推計。図－5の財政は見通しとなっている。17年の数値は基準として示してあるだけ
- ・安中市の人口将来推計なので、図－5，7に合わせて「見通し」とする

3 厳しい財政状況

- ・IIの3の数値について、庁内会議では行革審に一任ということなので、数値を記載し、より情報公開する
- ・図－7は予算額19、20年度の数値を修正したが、図－5には反映できず、推計になっている。図－5では予算額を示せない
- ・図－6を追加。18%の線を入れた、これを超えると起債に県知事許可が必要になる
- ・実質公債費比率には単年度の状況が反映されてしまう。18年度は合併投資等の影響が出る。文章に対応しているから良いと思うが
- ・図－7について。19・20年度は予算額が入った。決算額から予算額に変わっているので、右下がりだったところから急に上がるが、これは事実であるのではない

4 総合計画の策定

- ・4の総合計画の策定の中の、策定日について、平成20年3月まで、日は入れない

II 行政改革推進項目

2 簡素で効率的な組織整備のために

- ・IIの2「トップマネジメント」について、誤解を生じるのではとのことで、意味を附した。「～を始め、」となっているので、柔らかくなって良いと思う、ただトップマネジメントと見るとどうしても市長のみで、サポートする体制が整っていないような印象がある

- ・「行政運営の戦略化」はおかしいので「戦略的な行政運営」に変更
- ・（１）②について、「人事考課、」を削除し人事評価制度の確立と人事異動等への反映としたらどうか。評価した後どうするのかとの観点から
- ・人事異動への反映となると、個別具体的な表現、実行力のことになるので有効活用くらいでいいのでは
- ・（１）のタイトルに「抜本的な改革」とあるので、確立だけで良いと。確立したあとのことが気になると思われるので、人事異動も含めて人事評価制度の確立とその有効活用とする
- ・③について、外部との人事交流の推進を考えていただきたい。受け入れだけでなく派遣や出向
- ・人事交流の推進では抜本的改革にはならない、今まで安中市ではあまり行われていなかったのかもしれないが、一般的なことでインパクトに欠ける
- ・外部人材の積極的受け入れと交流の推進と言葉を足すと主語が変わってしまうので、別に交流で④を起こすというのは
- ・単独で④を起こすと（２）の人材育成にも関わってくるため、（２）③「職員の外部派遣等の推進」を新たに起こす
- ・図－８を分かり易く入れたつもりだが、あまり減っているように見えない。
- ・病院は横ばいで人数は確保していることをアピールし、事務職は減るといように矢印などで分かり易くする
- ・（３）①勤務評価と（１）②人事評価の区別が解りにくいと思われるので、（３）②は給与に特化したように書いた方が良いのでは
- ・なんらかの形で、勤務評価はしていると思う。今までの勤務評価を検討し直すという意味かと

3 健全な財政運営のために

- ・Ⅱの３について、「PFI」を「アウトソーシング」に変更
- ・（２）に「経営の」と入れるのならば、（３）にもいれてはどうかとの庁内会議での意見があった
- ・上の文章でも両方に掛かって経営のと言っているのもそれでいいのでは
- ・第三セクターは２つある。公社も含まれる。ただし実施計画（第三セクターの部分）では公社についての記述が無い、出せない
- ・公社のことは市民もどうするのか一番知りたいと思われる。公社に関して審議会では何も言っていないことになる。経営を健全化し透明度のある経営等の記述は必要
- ・前回までであった①②が消えている。実施計画のために大綱の項目を削除するのでは、手続が逆なので、①②を載せる。公社については国からの指導もあり、大きな問題

用語解説

- ・用語解説について、量のバランスの問題がある
- ・「地方分権」について２行だが、「～年から実施」という記載も必要
- ・初出の言葉に注をつけ、注について説明を入れ、注のある用語については用語解説などの説明があれば
- ・公の施設は182施設あるとの記述
- ・「レクリエーション」を「レクリエーション」に訂正
- ・全体的に字のポイントを大きくできないか。
- ・Ⅱの２（３）「勤務評価」について、用語解説を付けていただきたい
- ・修正などは事務局に任せる

（２）行政改革大綱実施計画について

説明：事務局

- ・細部の作り込みは市で行う

《主な内容》

- ・第三セクターの問題、人事・勤務評価の内容を入れるなどを含め修正については事務局に一任する

(3) 今後の予定について

説明：事務局

- ・今回会議の意見を基に修正し、会長に確認してもらった後に、市長へ答申する
- ・答申は3/28午前11時30分～ 市長室。
- ・策定後、広報5月号に掲載する予定
- ・印刷は自前で行い、委員に配布。HPで公表する

《主な内容》

- ・広報には概要なので、本書を図書館・公民館など各施設に配布

(4) その他

説明：事務局

- ・行政評価部会 4月以降
- ・補助金見直しも検討開始

《主な内容》

- ・補助金の見直しについては、市民の視線を大きく取り入れることが必要。市民の納得が得られれば、補助金を受ける側も納得すると思われる
- ・補助金についてまずは全体会議で行う。今までの補助金の切り方は零細からだったが、そのようにはならないかもしれない
- ・公益をどのように選定していくのかななどを議論するようになる
- ・必要があれば各部局から担当職員に来てもらい話を聞く
- ・会長と調整し次回審議会の予定を決める

4 その他

- ・会議録署名
- ・磯貝委員より配付資料の説明。住宅設計コンペ

5 閉 会